

令和8年度

# 学 校 経 営 方 針

上尾市立平方小学校長

令和8年度

# 上尾市立平方小学校 学校経営方針

校長 大野 和孝

## 1 学校経営の基本理念

### 笑顔があふれ、活気に満ちた平方小学校

～他者と関わり合い、認め合い、自己有用感を高める～

#### 笑顔があふれる学校

- 児童が「できた」「分かった」と実感できる授業実践
- 児童が安心してチャレンジできる環境づくり  
(認め、ほめる教育の推進)
- 互いに認め合える学級づくり
- 協働的な教職員集団

#### 活気に満ちた学校

- あいさつ、返事の励行
- 他者との協働の喜びを感じる活動(場)の工夫
- 家庭・地域が積極的に関わる取組の推進
- 教育に情熱をもった教職員集団

## 2 学校教育目標

『心豊かでたくましく 共に生きる子ども』

## 3 学校経営の方針 (めざす学校像・児童像・教師像・地域像)

### (1)めざす学校像

- 子供が目を輝かせ、生き生きとしている学校
- 教師としての喜びを味わえる学校
- 家庭や地域と連携し合う学校

### (2)めざす児童像

- 進んで学ぶ子
  - ・自ら課題を見つけ進んで学ぶ子供
  - ・筋道を立てて考え、よりよく表現し合う子供  
⇒ 分かる授業やほめる教育を実践して子供の学習意欲を高める。  
ICTを活用したスモールステップの学習
- 共に生きる子
  - ・自他の違いを肯定し、他者を思いやり、助け合って最後までやり遂げる子供
  - ・広い心を持ち、仲間を大切にしている子供  
⇒ 道徳教育・特別活動の充実
- 明るくたくましい子
  - ・心身ともに健康でたくましい子供
  - ・いつでも、どこでも誰にでもあいさつし、時間を守る子供

## ※太平中学校区小中一貫教育 共通目標

知	よく学び よく考え 共に学びを深める子供
徳	共に生き 仲良く助け合い 多様な考え方を認める子供
体	たくましく 心身ともに健康で 進んで行動する子供

※自他の相違を肯定的に捉え、相手に優しくできる自己を確立し、夢や希望に向かって前向きに努力し、友達や大人から信頼され、頼られる児童を育成する。

→そのために平方小の合言葉『あいうえお』の徹底

「あ」…あいさつをしっかりと

→ 自分から進んであいさつをする。

「い」…命を大切にす

→ 健康に気をつけ、安全で楽しい生活を送る。

→ 早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付ける。

→ 規則正しい生活習慣を身に付ける。

「う」…運動をがんばる

→ 進んで体を動かし、たくましい心と体を養う。

「え」…笑顔いっぱい

→ いじめはしない、させない、許さない、強い意志をもつ。

→ 友達と互いの考えを尊重し、思いやる。

→ 学校や家庭、地域のルールを守り社会の一員としての責任をもつ。

「お」…終わりまでしっかりと

→ 一時間一時間の授業に集中する。

→ 授業中は、あきらめずに最後まで真剣に考える。

→ 毎日、必ず家庭学習をする。

→ 朝読書にしっかりと取り組み、本を読む習慣を身に付ける。

### (3)めざす教師像

○向上心を持ち、常に学び続ける教師

○児童を理解し、児童を大切にす教師

○教職に対する強い情熱を持ち、人間性豊かな教師

○主体的・協働的に学校経営に参画する教師

※児童・保護者・地域・同僚から信頼され、授業で勝負し、頼られる教師を目指す。

→そのために

①教育は感化、自らの人間性を常に磨き続ける。

②謙虚な姿勢で、丁寧な言葉や立ち振る舞いを身に付ける。

③児童を信じ、児童の心に寄り添い、温かい人間関係を築く。

④分かる授業の実現のため、教材研究を続ける。

⑤児童の努力やよさを認め、褒め、児童の自己肯定感を育てる。

⑥各時間のめあてを示し、児童に達成感を味わわせる。

⑦他者と認め合う場を設定し、関わり合う喜びを味わわせる。

- ⑧ I C T機器を有効に活用し、児童の理解を深めさせる。
- ⑨生徒指導、教育相談のスキルを高め、児童・保護者との信頼関係を築く。
- ⑩傾聴力を高め、丁寧な対話で保護者・地域と協力的な関係を築く。
- ⑪より良い学校にするために主体的に考え、行動する。

#### (4)めざす家庭・地域像

- 子供に家族としての役割をもたせ、励ます家庭
- 安全・安心な環境づくりに取り組み、子供を見守り育てる地域
- 学校・家庭・地域がそれぞれ補完しあう関係（C P T A＊）  
＊C P T A…Community-Parent-Teacher Association（地域-保護者-教師）

#### 4 学校経営の重点

「チーム平方小」：コミュニティ・スクール9年目の今年度も学校・家庭・地域が一体となった「地域と共に歩む学校」を目指していく。

##### (1)特色ある学校の創造

- 幼保小連携の充実
  - ・全校交流活動、園児・児童との交流
- 小中一貫教育の充実
  - ・合同研修会の実施（夏季休業中）
  - ・道徳を核とした一貫した教育
  - ・太平中学校との情報の共有（教育課程、生徒指導等）
  - ・平方東小学校、平方北小学校との情報共有

##### (2)開かれた学校の創造：地域で学ぶ・地域に学ぶ・地域に愛される

- コミュニティ・スクールの充実
  - 「共有」…地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有する。
  - 「協議」…学校運営に地域の人々が「参画」し、共通の目標に向けて「協働」して活動していく。
  - 「マネジメント」…地域との関係を構築し、地域人材や資源等を生かした学校運営を行っていく。

#### 5 今年度の重点

##### (1)学力向上…最重要課題

- 学習規律の徹底
  - ・「聞く姿勢」「声の大きさ」
  - ・学習規律を守ることが、安心して授業に臨めること、楽しい授業になることにつながることを実感させる。
- 基礎・基本の徹底
  - ・繰り返し学習（読み・書き・計算）の徹底、基礎学力の向上、学習規律の徹底、個に応じた指導、汎用的指導スキルの発揮、I C Tを活用したスモールステップ学習の実施等。
- 読書活動の推進
  - ・朝読書の徹底（決めた本を最後まで読む）
  - ・本に触れる機会を増やす。（図書室利用、読み聞かせ等）
- 分かる授業の実践
  - ・児童の実態に合わせた、学習内容をかみ砕いた授業の実践。児童に「分かる」

「できる」を実感させる授業の実践。

- ICTを活用したスモールステップ学習
  - ・デジタルドリルと紙教材との併用
- 主体的・対話的で深い学びの実現
  - ・学習指導要領の目標や内容を学び、実践するとともに、学校教育目標の具現化を目指して創意ある教育活動を展開する。また、児童一人一人の資質・能力を最大限に伸ばすため、個々の「よさ」の発見と生きる力を育む学習指導の工夫・改善に努める。特に「少人数指導や習熟度別学習」「ICTを活用した授業づくり」「伝え合いの授業づくり」に、積極的に取り組んでいく。また、「主体的・対話的で深い学び」の全教科での実践と教科等の横断的な学習づくりの実践を進めていく。

## (2)規範意識の高揚

- 基本的な生活習慣の確立
  - ・あいさつ、返事、片付け、集団生活のルールやマナーの徹底
- いじめ対応
  - ・道徳教育、人権教育の充実
  - ・豊かな人間関係の醸成
  - ・学年・学級経営の充実
  - ・早期発見・早期解決（アンテナを高く掲げる、初動体制の整備）、組織的な対応
  - ・児童の自主的な取組支援（なかよしの木）
- 不登校対応
  - ・不登校対策委員会を中心として組織的に未然防止・早期発見・早期支援を推進
  - ・関係機関との連携

## (3)健やかな体の育成

- 体育授業の充実
  - ・他者と関わり合いながら、体を動かす楽しさ、喜びを感じる活動の工夫
- ひらチャレの充実
- 外遊びの励行
- 安心・安全な環境づくり
  - ・給食指導、アレルギー対応、心肺蘇生法研修
- 学校保健委員会の充実

## (4)特別支援教育の充実

- 交流教育の充実・自立支援
  - ・特別支援コーディネーターを核とした学級担任との連携
- 教育相談体制の充実
- 個別の指導計画の活用
  - ・A・Bプランの活用 保護者との連携
- 教育相談日の活用
  - ・スクールカウンセラーとの連携
- 特別支援教育に係る研修の充実
  - ・ケース会議

## (5)教職員の資質の向上

### ○研修の充実

- ・授業力や専門性の向上を目指した研修
- ・学校課題研究を通して教師の授業力を育成
- ・生徒指導、教育相談の資質向上を目指した研修の充実

### ○小中一貫教育に向けた取組、幼保小連携の推進

- ・太平中学校区合同研修会
- ・太平中学校区共通目標における具体的な取組
- ・児童、園児の交流

### ○「学校の働き方改革」のさらなる推進.

- ・自らの働き方をマネジメントする